

講義名	観光地理学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山川 拓也		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2020年度 人間社会学部 観光学科 / 2020年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2020年度 経済学部 経済情報学科 / 2020年度 経済学部 経済学科 / 2020年度 商学部 マーケティング学科 / 2020年度 商学部 経営学科 / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人		
履修開始年次	1年生	単位数	2 備考

主題と概要
近年、地域活性の手段として観光が注目されている。地理学において比較的新しい研究分野の観光地理学では、地域における観光関連産業の発達、観光地化に伴う生活や文化の変容、観光活動が地域に与える様々な影響等が研究されており、究極的には観光地の地域性を明らかにすることを目的としている。それらを踏まえ、授業では、パッケージツアー（旅行商品）の行程に組み込まれることも多い「世界遺産」を中心に取り上げて、地域における代表的な観光資源の特色と観光地の地域性に関する基本的な理解や知識、地域資源を活用した観光まちづくり・観光地域マーケティングに繋がる気づきを得ることを目指す。

到達目標
授業での内容を踏まえて、代表的な観光資源の特色ならびに観光地の地域性を理解し、基本的知識を習得する。 地域資源を活用した観光まちづくり・観光地域マーケティングに繋がる気づきを得る。

提出課題
毎回の授業終了時に提出を求める「リアクション・ペーパー」

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
リアクション・ペーパーに記載された内容で解説等を加える必要があると判断したものは、授業の中で適宜フィードバックを行う。

評価の基準
定期試験： 100%
*欠席・遅刻・申告なき離席・態度不良および類似する行為があった場合、一定基準のもとで減点する。 （毎回の出席確認は、マークシートを用いて厳格に実施する） *リアクション・ペーパーの記述内容が優れた場合、一定基準のもとで加点する。
上記基準による総合評価とする。特に、正当な理由なき遅刻や早退、スマホなど電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語・睡眠・着帽の継続、教員の指示や指導に従わないなどについては、態度不良・授業妨害と判断する。これらは成績評価に重大な影響を及ぼすので厳に慎むこと。

履修にあたっての注意・助言他
観光地理の知識は旅行業界を目指す人だけに必要となる知識ではありません。旅行業以外でも航空や宿泊などの観光関連業界、その他の業界においても、顧客との話作りやコミュニケーションに役立つ知識となります。また、仕事だけでなくプライベートでも、観光地理の知識を身に付けることは、自らの旅行・観光経験を豊かに幅広いものにしてくれます。皆々の立場で観光地理を学修する意義を見出し、目的や目標を持ち、楽しみながら知識を得てほしいと思います。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献
プリント資料： 毎回の授業では講義レジュメを配布し、パワーポイント・映像・画像等を使用して授業を実施する。 参考文献： きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト<第2版>（世界遺産検定事務局 著）、世界遺産検定公式過去問題集3・4級<2019年度版>（世界遺産検定事務局 著・編集）

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（科目ならびに授業の概要説明）、観光地理の視点でみる「観光資源と地域資源との関係」 2. 観光資源・地域資源としての「世界遺産」（概要） 3. 観光資源としての「自然資源」（日本の世界遺産 - 自然遺産） 4. 観光資源としての「自然資源」（全国観光資源台帳と日本の主要な自然資源） 5. 観光資源としての「自然資源」（海外の世界遺産 - 自然遺産） 6. 観光資源としての「人文資源」（日本の世界遺産 - 文化遺産） 7. 観光資源としての「人文資源」（日本の世界遺産 - 文化遺産） 8. 観光資源としての「人文資源」（ヨーロッパの主要な世界遺産 - 文化遺産） 9. 観光資源としての「人文資源」（ヨーロッパの主要な世界遺産 - 文化遺産） 10. 観光資源としての「人文資源」（その他海外の主要な世界遺産 - 文化遺産） 11. 観光資源としての「人文資源」（その他海外の主要な世界遺産 - 文化遺産） 12. 観光資源・地域資源としての「無形文化遺産」（概要） 13. 神戸市内・兵庫県内における「観光資源」 14. 大阪市内・大阪府内における「観光資源」 15. 観光資源と観光まちづくり・観光地域マーケティングの関係（まとめにかえて）

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
（予習：120分/回）旅行会社の店頭などから旅行商品パンフレットを収集し、観光地・観光ポイントを確認するなど前もって授業に向けた予習に努める。 （復習：120分/回）授業の内容を整理し、参考文献に指定している問題集などに取り組み、知識の定着に努める。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用
「実務経験あり」 旅行業および旅行サービス手配業での実務経験ならびに総合旅行業務取扱管理者（国家資格）の知識を活用し、観光地理に関する知識の教授に努める。

備考
本科目は「座席指定制」にて実施する。また、進捗状況によって、授業の進行方法や内容を変更する場合がある。